

「保育・医療・介護・障害」を自己責任にするな！ 社会保障は国の責任で拡充して！

2.27 春をよぶ あいち大集会

【プログラム】

プレオープニング企画

10:30 開会

主催者あいさつ

愛知県社会保障推進協議会議長 徳田 秋

賛同国会議員・政党の紹介

アピールコーナー

- ①ストップ！子ども・子育て新システム
- ②障害者の願いに沿った障害者基本法を
- ③介護保険の改悪反対
- ④後期高齢者医療「新制度」と国保の広域化反対
- ⑤医師・看護師を増やせ
- ⑥地域医療を守れ

集会アピール提案・採択

閉会あいさつ

シュプレヒコール

愛知県労働組合総連合議長 樽松佐一

11:20 パレード説明・出発



【参加・賛同団体】

愛知学童保育連絡協議会・愛知県医療介護福祉労働組合連合会・愛知県社会保障推進協議会・愛知私教連私立幼稚園教職員組合・愛知県障害者（児）の生活と権利を守る連絡協議会・愛知県小規模保育所連合会・愛知県商工団体連合会・愛知県民間社会福祉施設経営管理者会議・愛知県保険医協会・愛知県民主医療機関連合会・愛知県労働組合総連合・愛知保育団体連絡協議会・介護の充実を求める会愛知連絡会・きょうされん愛知支部・全日本建設交運一般労働組合愛知県本部・全日本年金者組合愛知県本部・新日本婦人の会愛知県本部・全国福祉保育労働組合東海地方本部・地域療育センターの早期建設を実現させる会・名古屋市立高等学校教員組合・名古屋市公立保育園父母の会・名古屋市職員労働組合・日本自治体労働組合総連合愛知県本部

【賛同国会議員】

井上哲士参議院議員（日本共産党）・佐々木憲昭衆議院議員（日本共産党）

【賛同政党】

新社会党愛知県本部・日本共産党愛知県委員会

【50音順】

【集会アピール案】

「保育・医療・介護・障害」を自己責任にするな！ 社会保障は国の責任で拡充して！

「国民の生活が第一」と言っていた民主党が、社会保障の大改悪を進めようとしています。

2013年度実施をめざして法案化が進められている「子ども・子育て新システム」は、保育園と幼稚園を一体化させる「こども園」を目玉にしていますが、その本質は保育や子育てから国と自治体の責任をなくしてしまうものです。さらに地域主権改革において、国が決めてきた施設等の最低基準も自治体まかせにされようとしています。国の基準がなくなれば、今でも低すぎる保育所基準が引き下げられたり、自治体ごとの格差が広がることになりかねません。こうしたことは学童保育でも同様のことが考えられ、子育てが親の自己責任と金もうけの道具に変えられようとしています。

後期高齢者医療制度に代わる「新制度」では、大多数の高齢者を国民健康保険に入れ、75歳以上を現役世代と別勘定にして年齢差別を継続しようとしています。70歳から74歳の窓口負担も2倍に引き上げようとしています。さらに国民健康保険の運営を都道府県単位の広域化もめざしています。この広域化は、自治体からの一般財源投入をできなくし、歯止めのない国保税（料）引き上げを招きます。経済的理由による受診中断・中止の広がり合わせ、自治体病院の統廃合や医師・看護師不足など、医療崩壊はますます深刻になっていきます。

実施から10年を迎えた介護保険の「見直し」では、要支援の軽度者を保険から外し、新たに「総合サービス」を設けて介護保険給付費の削減が狙われています。これでは「保険あって介護なし」という状態は、深刻になるばかりです。

障害者分野では、障害者権利条約で確認されている「障害者も権利の享有主体」であることを意識的に外し、違憲訴訟での基本合意文書の約束も踏みにじった内容で、障害者基本法の改正案が通常国会に提出される動きが強まっています。

自公政権から民主党政権へと、社会保障は改悪に次ぐ改悪で国民の生存権を脅かしてきました。さらに民主党政権は、「税と社会保障の一体改革」と言って、消費税の増税を打ち出しています。消費税の税収は法人税の減収と累計でほぼ一致し、今後も新たな法人税減税が予定されており、消費税の税収が大企業向けの減税に回ってしまうことは明らかです。

こうしたもとで私たちは、「社会保障を自己責任にするな」「いのち守り育てる社会保障は国の責任で」と「2.27春をよぶあいち大集会」を開催しました。

すべての国民が人間らしく生きることは、憲法25条に保障された国民の権利であり国に課せられた義務です。社会保障の大改悪にストップをかけ、国の責任で拡充するため、みんなで力を合わせて声をあげていきましょう。

2011年2月27日

「保育・医療・介護・障害」を自己責任にするな！
社会保障は国の責任で拡充して！
2.27春をよぶあいち大集会

※享有…権利・能力などを、人が生まれながら身につけて持っていること。